

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.16
2011.5.18

◆共同センター会議と2ヶ月行動

共同センターでは5月9日に第9回会議を持ち、各団体の活動報告と情報の交換を行いました。岩商連と農民連が独自に県要請を行ったこと、新婦人では沿岸市町村に支援カンパを届けたこと、消団連・いわて生協・母親連絡会で陸前高田に定期的に炊き出しを行っていることなどの報告がありました。

2ヶ月を経過した共同対策本部をこれからどうしていくかという話があり、情報の共有をする場がほしいという意見もあり、あらたな体制を考えながら当面続けていくことになりました。紫波の支援物資倉庫は5月20日までに終了し、農協にお返しすることを確認しました。



被災2ヶ月募金行動

また、会議の中で、被災2ヶ月目にあたる5月11日に何か行動を起こそうということになり、盛岡市肴町アーケード前でお昼時間に募金署名活動を行いました。8団体から12人が参加し、30分の行動で19890円が集まり赤十字に送金されました。また民商の国会請願署名も取り組み、17筆が集まりました。

◆大船渡センター引き続き奮闘

大船渡の全労連・災対連のボランティアセンタ

ーは引き続き奮闘しています。現在までのべ776名が活動し、復興の力となっています。1日の人数が最大40名以上になった時もあり、夏虫温泉にマイクロバスで移動し分宿していました。



宿泊に使う夏虫のお湯っこ

ボランティアではそれぞれの特技も発揮して行われ、埼玉土建のボランティアは家の解体などで活躍していました。

また、ボランティアの方が持参してくれた、コメント入りのマグネットやステッカー(東



床板はがして泥出し



大船渡市役所に清掃グッズ贈呈

京土建 宮崎さん)と、手作りの洗剤がなくても洗えるアクリルスポンジ(神奈川県職労 遠藤さん)を大船渡市に進呈しました。

ボランティアに来た漫画家・白六郎さんから漫画の感想文が届きましたので掲載します。



白六郎さん、漫画で感想文

★5月1日震災復興メーデー開催

第82回メーデーが県内各地で行われました。岩手公園広場での県中央集会は雨の中800名が集まり、時間を30分に短縮して行われました。「被災地・被災者救援、地域復興」を掲げて行われたメーデーでは、最初に復興を励ます歌「負けないみんなで一歩ずつ」も歌われました。この集会には被災地釜石からも全医労釜石支部が参加し、舞台上で支援に対するお礼のことは述べました。いわて労連鈴木議長による主催者あいさつのあと、日本共産党斉藤信県会議員が来賓あいさつし、農民連、民医連、自治労連が被災支援の状況と決意表明を行いました。集会終了後は雨の中をデモ行進し、「大企業の内部留保を復興に回せ」などとアピールしました。この日、大船渡ボランティアセンターでも県内のトップを切って朝一番でメーデー集会在行われました。



デモ行進



県中央メーデーに釜石からも参加



メーデー合唱団



二戸労連被災地救援メーデー行動